

# ネピアアテンダー ケア通信 Vol.21

発行元: 王子ネピア株式会社  
ケアサポート事業本部  
東京都中央区銀座5-12-8  
王子ホールディングス 1号館  
編集・制作: 株式会社ジェイ・キャスト  
発行人: 取締役 ケアサポート事業部長 山下千晶  
発行日: 平成29年12月15日



## 介護業界の現在

### 初心を思い起こさせる映画 認知症になっても終わりにじゃない

前回、小規模多機能型居宅介護施設などを展開する「あおいけあ」を紹介した。今年6月、その施設をモデルにした映画「ケアニン」が公開された。同作品の原案・エグゼクティブプロデューサー・山国秀幸さんに、映画の制作過程でみてきた、介護という仕事の奥深さを聞いた。



株式会社ワンダーラボラトリー代表取締役  
山国 秀幸 さん  
(やまくに・ひでゆき)

1967年生まれ。大学卒業後、リクルート、ミュージメント機器メーカーなどを経て、2007年より現職。市民上映会での展開を前提に「社会的テーマ」を題材としたエンターテインメント映画のプロデュースや原案を手がける。

映画の主人公は、21歳の新人介護福祉士・大森圭。初めて任された利用者者は認知症の星川敬子。何となく介護職に就いた圭が、試行錯誤を繰り返しながら、敬子と心を通わせていく物語だ。

©2017「ケアニン」製作委員会



自主上映会の詳細・申し込みは、公式HP (<http://www.care-movie.com/>)へ

だてて教えてくれました。認知症になっても終わりにじゃない、という姿勢が伝わってきました。日本は、取材した介護施設の人たちに何度も確認して練り上げた。前出の加藤さんからは、「間違った知識で、認知症のじいちゃんばあちゃんをカッコ悪く描かれるのは、たまらない」と、認知症の人の振る舞いについて細かい注文があった。例えば幼稚園の先生だった敬子が、オルガンを久々に弾くシーン。最初の台本では、人に教えられるがらやっと弾き方を思い出すという描写だったが、加藤さんは認知症でも、すぐに弾けると訂正してきた。撮影中も、役者が現実的に即した所作ができるように、介護従事者に常駐してもらった。

**看取りを経験し 死生観が深まる**

映画の終盤、敬子を施設で看取る展開にした。「看取りを描くのは避けたい」という。悲しい

仕事だと想像していたから。でも現場の皆さんは『ぜひ描いてほしい』と。看取ることで自分の死生観が深まった、自分の人生が豊かになったという経験が涙ながらに話されたのです。

映画は無事完成。ただ、山国さんは、介護職の人たちが映画をどう見るかが不安だった。だがある施設で試写会を催したところ、幾人ものベテラン職員が涙を流していた。「嬉しかったですね。多かったのは、『日々の仕事に追われて忘れていた初心を思い出した』という声でした。介護養成学校の生徒さんからは、この仕事を選んで良かったという声があったし、他の施設では外国人介護職員が、涙を流して感動していました」

自主上映会が10月から始まり全国で既に90を超える申し込みがある。介護施設などで上映会をしたい場合はDVDを借りられる。介護問題はシリーズ化する予定で、次のテーマは在宅介護という。(文・西所正道)

## 注目のトピックス

### 人生100年時代へ 厚労省が診療報酬改定骨子案

厚生労働省は2018年度診療報酬改定にあたり、「人生100年時代」を見据えた基本方針の骨子案を示した。高齢者が自宅や地域で最期まで暮らせるための医療・看護体制「地域包括ケアシステム」の構築、新たな働き方の推進等を挙げた。

2017/11/27 日刊工業新聞

### 後ろから乗れる電動車いす テムザックが発売

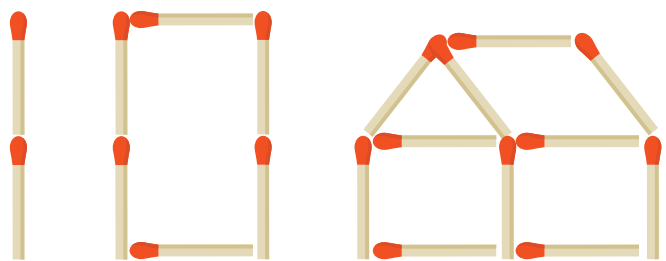
テムザックは、車いすの代わりに利用できる乗車型のロボット「RODEM」の販売を開始した。座面が上下や前後に動くので高さをベッドに合わせると、RODEMに腕の力で乗り移れる。レンタルも可能。

2017/11/20 ITpro

## 脳のアンチエイジング

### マッチ棒クイズで脳をリフレッシュ!

**問題** 左: マッチ棒でつくった「10」。1本だけ動かして半分の数字にしましょう! 右: マッチ棒で描いた家です。1本だけ動かして家の向きを変えましょう!



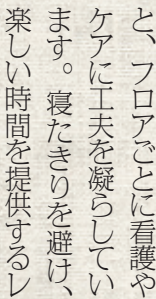
**回答** 左: 0の下のマッチ棒を1本、1本の斜めに移動する。 右: 図のようにマッチ棒を置き換える。



園長で看護部長の  
栗原さん

「ユニットも含めて全216床、介護度の平均は4、ご入居者の平均年齢は80代後半でしようか」と話すのは栗原園長。平成27年度の介護保険制度改正によって、特養の入所基準が介護度3以上に引き上げられました。大野城市の特養・悠生園では、この改正を機に、医療ニーズに特化した特養へと改革を進めています。嘱託医師を2人に増やし、現場との連携・調整は園長の担当です。

2階は医療に特化したフロアに変わり、藤看護次長がフロア長です。



園長で看護部長の  
栗原さん

「胃ろうの方だけでなく、経鼻栄養、インスリン、就寝時の酸素吸入が必要なものも受け入れていきます。これまで難しいとされてきた透析のため通院する方も入所予定です。きめ細かな健康管理、感染症予防など日頃のリスク管理がますます重要になっていきます(藤次長)」。3階は生活支援が必要で、4階は認知症の方と、フロアごとに看護やケアに工夫を凝らしています。寝たきりを避け、楽しい時間を提供するレ



2階フロア長で看護部  
次長の藤(とう)さん

「家族と同じ気持ちで2階の介護リーダー。長時間の外出がきつい方には、ショッピングやレストランでの食事が喜ばれますよ」と話す藤さんは「家族と同じ気持ちで2階の介護リーダー。長時間の外出がきつい方には、ショッピングやレストランでの食事が喜ばれますよ」と話す藤さんは「家族と同じ気持ちで2階の介護リーダー。長時間の外出がきつい方には、ショッピングやレストランでの食事が喜ばれますよ」と話す藤さんは



明るく広々とした悠生会地域包括  
ケアセンターのホールにて

「職制で線を引くのではなく、ご利用者の目線に立って何を求められているのかを受け止めなくては。ご家族と同じ気持ちでご入所者に接していきたい」と語る園長。みなさんも一緒に深くうなずいていました。

こんにちは、  
ネピアです

職場のお話、聞かせてください。

### 医療ニーズへの対応も強化!

◎特別養護老人ホーム 悠生園・悠生園ユニット(福岡県大野城市)  
園長・看護部長 栗原 英子さん / 2階フロア長・看護部次長 藤 晴香さん  
介護福祉士リーダー 桑原 辰典さん / 看護師 山根 祐美さん



3階フロア担当の  
看護師 山根さん

「心配ないですよ!大丈夫ですよ」という優しい声かけを心がけています。施設では、他職種との連携が当たり前ですが、「職制で線を引くのではなく、ご利用者の目線に立って何を求められているのかを受け止めなくては。ご家族と同じ気持ちでご入所者に接していきたい」と語る園長。みなさんも一緒に深くうなずいていました。

# 100年続く骨太な事業体へ



社会福祉法人悠生会  
事業長  
**篠原 和孝氏**

**九州で初めて特別養護老人ホームを開設したのが、福岡県大野城市の社会福祉法人悠生会です。次代を担う事業長の篠原和孝氏を、王子ネピア社長の清水紀暁が訪ねました。**

**清水** 先ほど永沼理事長にお会いしました。悠生会の将来を担う篠原事業長こそ、この対談にふさわしいとおっしゃっていました。

**篠原** 私は、入職当初は生活指導員でした。新しい特養をつくることに事



務次長、次に法人部長を経験。今年4月、理事長から「また新たな挑戦をしない」と、人事・経理系の仕事から事業責任を負う事業長になりました。いつも成長のチャンスをお待ちしています。

**清水** 歴史があるからやりがいがありますね。

**篠原** 昭和38年に老人福祉法ができ、翌年、老年医学のパイオニア、田中多聞医学博士が九州初の特養として、ここを開園しました。先生は脳卒中や認知症の方の心と体の

リハビリテーションに意欲的でした。認知症の診断と治療に音楽療法を考案されました。

**清水** すごいなあ。それで多目的ホールを「多聞ホール」と名づけ、ピアノを置いたのですね。

**医療・介護事業者、行政の連携をめざす**

**篠原** はい。永沼理事長も先生の信念、哲学を継承しています。当法人の内部留保は、以前から「再生産コスト（社会福祉充実残額）」と呼んで、ご利用者の環境整備、職員の処遇改善、新たな福祉ニーズ対応にあて、これ

の価値がないと教えられました。振り返れば、当会社設立後、平成5年にデイサービスセンターを開設し、現在は3カ所に増えました。平成12年の介護保険法施行後には、ユニット型特養、在宅介護支援センター、訪問介護ステーション等を設置。創業50年を迎えた3年前に「STEP100プロジェクト」がスタートし、将来の時代の変化にも対応できる事業体の骨格づくりを行っています。

**清水** その第一ステップが悠生会地域包括ケアセンターだそうですね。かんな内科医院、ゆめ歯科クリニック、薬局クオラスも併設されていて驚きました。

**篠原** 志を同じくする内科医、歯科医、薬剤師の先生方と出会った賜物です。国の施策が「施設から在宅へ」と進む中、在

宅介護支援、訪問介護にも力を入れていきます。受診の後、諸制度や介護保険のご相談もできます。医療と介護のワンストップ窓口として、認知されてきました。ホールに地域の方々が集い、交流し、結果として互助につながるのが理想です。

**清水** 2階は、デイサービスセンターですか？

**篠原** はい。炭酸泉、リハビリ機器等の設備を活かし、生活機能と社会性の向上を図るプログラム活動にも取り組んでいます。さらに、このセンターが医療との連携の拠点になり、近隣の医療・介護事業者や行政も参加できるプラットフォームをつくれるように、悠生会らしい地域包括ケアを展開していきたいです。



王子ネピア株式会社  
代表取締役社長  
**清水 紀暁**

**就労環境改革も進めています**

**清水** 施設の秋祭りが盛大だと聞きました。

**篠原** 最近では商工会や飲食店の皆様の出店や協力を得て、5000人規模になりました。キッズコーナーも設け、ご利用者のお孫さん一家をまじえ4世代で楽しむ方もいますよ。

**清水** 就労環境でも工

夫されていますね。

**篠原** 5年前、職員の就労環境を整え、ケアの向上をめざす、いきいきプロジェクトが発足しました。賃金制度の改善、半年に1回5連休のリフレッシュ休暇やマイ記念日休暇を導入、フルで働けなくなった場合のルー

**清水** トイレ制度を設けました。今も個別条件に対応すべく改良中です。職員には仕事のやりがいも伝えたい。私たちの福祉サービスや地域との連携などについての情報発信も大切ですよ。

**清水** ネピアもモノづくりの姿勢を「ネピア品質」として発信するほか、カウンセラーが施設を訪問して、正しいおむつの使い方を伝えています。

**篠原** うちもお願いしました。正しく使わなくては、せっかくの機能が活かない、目から鱗とみんな喜んでいました。

夫されていますね。

**篠原** 5年前、職員の就労環境を整え、ケアの向上をめざす、いきいきプロジェクトが発足しました。賃金制度の改善、半年に1回5連休のリフレッシュ休暇やマイ記念日休暇を導入、フルで働けなくなった場合のルー

**清水** トイレ制度を設けました。今も個別条件に対応すべく改良中です。職員には仕事のやりがいも伝えたい。私たちの福祉サービスや地域との連携などについての情報発信も大切ですよ。

**清水** ネピアもモノづくりの姿勢を「ネピア品質」として発信するほか、カウンセラーが施設を訪問して、正しいおむつの使い方を伝えています。

**篠原** うちもお願いしました。正しく使わなくては、せっかくの機能が活かない、目から鱗とみんな喜んでいました。



## テnderサポート便り vol.12

### 重ね使い専用の「なんでもパッド」

使い方でいろいろ工夫のできる両面吸収「なんでもパッド」ご存知ですか？

ネピアテnderの「なんでもパッド」は、防水フィルムを使用していないため、どこからでも吸収することができるパッドです。

現在お使いのパッドに重ねることで吸収力をアップさせたり、折ったり丸めたりしてお使いいただくことで、勢いのある尿の吸収効率を高める効果があります。また、内側と外側の表面材の目が違い、外側の目が粗くなっています。そのため、水様便の水分を吸収しやすい特徴もあります。水様便は、便カスがパッドの吸収体の目を塞いでしまうことでパッド内に水分が溜まり、モレやすくなります。なんでもパッドの外側の目の粗さをいかし、水分を素早く吸収させることでモレを防止することができます。

パッドは、基本的に重ねて使用することはありませんが、「なんでもパッド」は重ねても通気性を妨げないため、安心して使用できる重ね使い専用のパッドになります。種類は2つあり、吸収量や使用法に合わせてお選びいただけます。

パッドの重ね使いによる肌トラブルが気になる方にも通気性のよい「なんでもパッド」をおすすめしています。

**こんな時には「なんでもパッド」がおすすめです！**

**尿の勢いが強い場合**  
吸収効率を高めて、尿の流れを広がりにくくします。

**使い方 A**  
蛇腹折りで前にあてる。

**使い方 B (男性に有効な使い方)**  
両サイドから丸めて男性器を包み込むようにあてる。

**吸収力をアップさせたい場合**  
吸収力をアップして、尿があふれることを防ぎます。

**使い方**  
テープタイプとあわせて使う。

**水様便にお悩みの場合**  
便のカスをこし、大量の水分を下の吸収体に取り込みます。

**使い方**  
外側のやわらかい面をお肌側にして使う。

ご使用時のお願い お肌の状態を確認しながらお使いください。

## 共創介護

ネピアテnderの介護に、正解はありません。一人一人の状況に、ひとつとして同じものはないからです。だから耳を傾けます。介護に関わる全ての人の、全ての声に。親友のように深く寄り合い心を通わせ、そこから全てのケアを始めます。現場と一体となって、新たな解決策や商品・サービスを生みだします。介護の悩みに終わりがないように、ネピアテnderの進化にも終わりはありません。みなさまと共に、介護の明日を創り続けていきます。

**ネピアテnder**